

エントリー名：伊丹市立摂陽小学校 事務職員 大嵩 貴史

活動名：事務職員の主体的な校務運営参画
 ～学校運営協議会と共に創る「チーム学校」～

解決すべき課題：

2017（平成29）年、事務職員の職務規定は「**従事する**」から「**つかさどる**」へ（学校教育法第37条）と変更された。改正に際して文部科学省が発出した通知（28文科初第1854号）によると、「学校における**マネジメント機能**を十分に発揮できるようにするため、学校組織における**唯一の総務・財務等に通じる専門職である事務職員**の職務を見直すことにより、**管理職や他の教職員との適切な業務の連携・分担の下**、その専門性を生かして学校の事務を**一定の責任をもって自己の担任事項として処理することとし、より主体的・積極的に校務運営に参画することを目指すもの**である」と説明されている。そこで、**自らの専門性を校務運営に資するために、学校運営協議会に参加し、マネジメント機能を発揮することで、地域・保護者・行政と学校の橋渡しを行い、自校児童の課題を解決しよう**と考えた。

目標・方針：

事務職員のマネジメント機能（①**タイム・マネジメント**②**リスク・マネジメント**③**コミュニティ・マネジメント**④**カリキュラム・マネジメント**⑤**学校組織マネジメント**⑥**スタッフ・マネジメント**⑦**財務マネジメント**）の観点から、自校の児童の課題を捉え直し、**学校運営協議会で地域・保護者・行政・学校が一丸となってその解決にあたること。**

⇒そのためにやるべきことは、

1. 自校児童の課題の分析結果を学校運営協議会で共有
2. 教職員が求めるサポート内容を洗い出し
3. 地域・保護者がサポート可能なボランティアを協議
4. 教育活動やボランティア活動に必要な資材・教具の計画的な発注・決済
5. 教職員やボランティアでは解決できない業務を行政と連携して業者委託



活動内容：

1、自校児童の課題の分析結果を学校運営協議会で共有

- ①読書好きな児童がより本に興味を持つことができるよう、**読み聞かせ環境や貸し出し環境を整えること**
- ②不登校児童や遅刻しがちな児童も学校に来たくなるよう、**学習活動で自信をもたせること**
- ③多様な課題を抱える児童に対して教職員がきめ細かく対応できるよう、**業務改善を行うこと**

2、教職員が求めるサポート内容を洗い出し

- ・家庭科：6年生ミシン学習（ナップサック制作）、5年生手縫い学習（玉止め・玉結び）
- ・体育科：プール清掃、運動会前のグラウンド草刈り
- ・算数科：2年生九九暗唱
- ・音楽科：リコーダー指使い練習 等

3、地域・保護者がサポート可能なボランティアを協議

各ボランティアを計画し、次年度以降も継続しやすいよう、「**学校運営協議会カレンダー**」を作成（右図、一部抜粋）し、参加者の思いや留意点も記録しておく

学校運営協議会カレンダー

年	月日	活動	内容	注意事項	感想等
5	30	家庭科 リコーダー	6年生ナップサック作り、ミシン作業 5年生手縫いの基礎 玉止め	・サポーター説明会 打ち合わせが大切 ・ミシンの動作確認が必要	最初はお互い緊張して いたが、児童からの 励ましや声援が 嬉しかった
6	30	プール 清掃	プール清掃活動	・掃除員の準備 ・暑さや雨の心配があるので ・及先注意 ・熱中症対策のため 水分補給を行う	作業は大変だったが楽し むことができた
7	15	第1回 運営協議会	協議会委員による安全 点検		
9	30	草刈り ボランティア	運動会前の運動場の 草刈り	・掃除員の準備 ・熱中症対策のため水分補給 を行う ・土を落として穴開き注意	研修を含めて150名ほ ども参加があり、 楽しかった。 マスクがなくなり落ちて いた

4、教育活動やボランティア活動に必要な資材・教具の計画的な発注・決済

★実体験を通して学ぶことの大切さ

- ・気体検知管やリトマス紙など、理科実験道具に新学習システム予算を重点配当
- ・コロナ対策で鍵盤ハーモニカの演奏に制約があったことから、**卓上キーボードに予算配当**

★コロナや注文時期の過密による品不足等の予想、複数年見越した適切な修繕計画

- ・テントや釘、雷管、ラインパウダーやにがりなどの在庫確認と早期発注
- ・プール清掃用の高圧洗浄機の修繕、2台ずつのミシン計画購入

★魅力的な図書館、安全・安心な環境づくり

- ・貸し出し用カバンをかける椅子用フックの設置
- ・大型テレビ、書画カメラ、テレビ台を導入し、読み聞かせの実施
- ・地震に備え、技能主任、技能員作業による本棚・テレビ台の固定作業の実施

5、教職員やボランティアでは解決できない業務を行政と連携して業者委託

- ①**プールの排水工事**の実施
- ②学校運営協議会の校内安全点検で議題に挙がった**ダンパー部分の業者による清掃**の実施
- ③円滑なミシン学習を行うための、**計画的な業者によるミシン点検・修繕作業**の実施
- ④地域からの要望で、フェンスから飛び出す危険な**枝葉の剪定作業**の実施

取組の過程：前任校で1年間運営協議会に参加していたとはいえ、事務職員の参加は極めて珍しく、まして摂陽小学校に異動してすぐに運営協議会に参加するとなると、他の参加者から疑問の声が挙がるのが予想されたため、校長の許可を得て、**なぜ事務職員が参加しているのかを前述の法改正による標準的職務に基づき簡潔に紹介**させてもらった。その際にパワーポイント資料を作成し、異動して3か月で目にした教職員と児童の学習活動や、学校や地域・保護者ボランティア、行政主導の工事による環境改善など、**自校で行われている取り組みについてまとめ**させていただいた。

このことをきっかけに、2回目以降も**新たな活動を紹介しつつ、前回の議論と今後の課題を整理・発信する役割**を自然な形で引き受けることとなった。これまで模索しながら進められてきた学校運営協議会の活動とボランティア活動を「**学校運営協議会カレンダー**」という形でとりまとめることで、**年度末の時点で次年度の計画の見通しを立てられる**ようになった。

ボランティア参加者の声を聞かせていただくと、「**児童からの感謝の言葉がうれしかった**」という満足の声や、「**プール掃除では滑りやすく階段が急なので足元に注意する必要があります**」などの次年度に向けた注意などの意見を多く聞くことができ、それらも「**学校運営協議会カレンダー**」に記録しておくことで、2年目の今年度は**円滑に活動が実施**できるようになった。

初めは学校運営協議会への理解があまり浸透していなかった教職員にも、業務改善になっていることや何より児童の学習に役立つことが少しずつ伝わってきており、「**チーム学校**」として**一丸となって児童のために連携していくムードが高まってきている**。

活動の成果：子どもたちを中心とした「**チーム学校**」の共創が実現！！

◆子どもたちはサポートをしてもらうだけでなく、教職員以外の人からもほめられる体験を通して、生き活きと学校生活を送る姿が見られるようになった。学校図書館司書の読み聞かせにとどまらず、その他の教職員や図書委員の児童も読み聞かせを行うなど、図書館の活用の幅が広がるようになった。

◆教職員は業務の負担感が軽減し、特に家庭科の裁縫学習では一人ひとりの学習支援に手が回るようになった。

◆地域・保護者からは、支援や作業の大変さはあるが、子どもたちと接することへの喜びの声や、教職員との連携を歓迎する声が聞かれた。

⇒**学校運営協議会に参加し、事務職員としての専門性（マネジメント機能）を発揮することで、地域・保護者・行政と学校が連携し、児童の課題を解決する校務運営に資することができた！**

